

# カロム倶楽部 第41号

2007/9/2 発行: 日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018  
<http://www.biwako.ne.jp/~carom> E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

## お待ちかね！レーティング・ポイント・ランキング発表

### TOP10に変動無し。門野勉氏、T戦優勝で十傑目前！

小生安田、門野等氏・井戸氏を撃沈！T戦準優勝で1頁目初登場！

+奥居聡氏、門野勉氏に敗れ、ポイント減。門野裕司氏との差広がる。若林武氏、福富敬雄氏を敗り、ブービー脱出！

選手権大会直前競技会、調整か？謀報か？様々な思惑が交錯する。井戸氏、ロング・スランプ続き、背後に迫る新興勢力！

第41回順位	第41回レーティング	氏名	第40回順位	第40回レーティング	第39回	第38回
1	1,455	門野裕司	1	1,455	1	1
2	1,386	奥居聡	2	1,412	2	2
3	1,341	角田克司	3	1,341	3	3
4	1,315	伊藤明雄	4	1,315	4	4
5	1,304	山崎匠	5	1,304	5	5
6	1,296	鈴木智也	6	1,296	6	7
7	1,286	門野純也	7	1,286	7	6
8	1,259	門野隆	8	1,259	10	11
9	1,232	國武博之	9	1,232	9	9
10	1,211	門野等	10	1,223	17	43

選手権大会直前の競技会。ベスト10の中で参戦したのは僅かに2名。最終調整が吉と出るのか、極秘調整が実を結ぶのか、答えは6/17にハッキリする。上位陣不在の間隙を縫うようにして、トーナメント戦は門野勉氏が優勝、準優勝には小生が来ターッ！大会に出られないのが残念なくらいの絶好調！もちろん勉氏はベスト10目前だ！若林武氏は、福富敬氏に大きな1勝。定位置ブービーの脱出に成功！逆に、福富敬氏にとっては、痛い1敗。濱口氏も2敗でポイント伸ばせず。井戸氏は長いトンネルの中？

第41回順位	第41回レーティング	氏名	第40回順位	第40回レーティング	第39回	第38回	第41回順位	第41回レーティング	氏名	第40回順位	第40回レーティング	第39回	第38回
11	1,207	秦 滋	11	1,207	8	8	31	1,100	梶塚浩三	32	1,100	32	29
12	1,198	柴田宜秀	12	1,198	11	12	32	1,087	古川弘樹	33	1,087	48	34
13	1,191	門野 勉	16	1,170	16	16	33	1,086	井戸真也	24	1,135	26	14
14	1,188	奥居美加	13	1,188	12	13	34	1,084	森下 博	34	1,084	33	31
15	1,184	角田浩司	14	1,184	14	10	35	1,077	岡村博之	35	1,077	34	32
16	1,172	門野 悟	15	1,172	15	15	35	1,077	北川 豊	35	1,077	34	32
17	1,161	小水 元	17	1,161	18	17	37	1,063	門野大河	37	1,063	36	35
18	1,146	疋田真奈人	18	1,146	19	18	38	1,061	筒井一男	38	1,061	37	36
18	1,146	高橋 靖	18	1,146	19	18	39	1,060	赤井康彦	39	1,060	38	37
20	1,144	疋田 敏	20	1,144	21	20	40	1,058	大須賀貴幸	40	1,058	41	44
21	1,143	小川睦博	21	1,143	22	21	41	1,054	奥居由紀	41	1,054	39	38
22	1,138	田島一成	22	1,138	23	22	41	1,054	竹腰裕紀	41	1,054	39	38
23	1,136	湯谷淳一	23	1,136	12		43	1,047	安田佳代子	43	1,047	42	40
24	1,134	辻 克治	25	1,134	24	23	44	1,043	馬淵克一	44	1,043	43	41
24	1,134	古川慎次	25	1,134	24	30	44	1,043	梶塚浩貴	44	1,043	43	41
26	1,126	芝田 清	27	1,126	27	24	46	1,040	大橋文子	46	1,040	45	45
27	1,119	高橋 滋	28	1,119	28	25	47	1,037	安田良介	77	983	76	78
28	1,116	八田 猛	29	1,116	29	26	48	1,035	古川正夫	47	1,035	46	46
29	1,106	久木 寛	30	1,106	30	27	49	1,034	疋田なつき	48	1,034	47	47
30	1,102	若林良仁	31	1,102	31	28	50	1,031	田中久由	49	1,031	49	48

第41回 順位	第41回レ ティン	氏 名	第40回 順位	第40回レ ティン	第39回	第38回	第41回 順位	第41回レ ティン	氏 名	第40回順 位	第40回レ ティン	第39回	第38回
51	1,024	中川一志郎	50	1,024	50	49	101	941	久木美智代	102	941	104	102
52	1,020	川合四郎	51	1,020	51	50	102	940	岡 祥介	103	940	105	103
53	1,018	若林 拓	52	1,018	52	52	102	940	井戸大志	103	940	105	103
54	1,017	和泉フサ子	53	1,017	53	53	102	940	梶塚美代子	103	940	105	103
55	1,013	浜口浩一	57	1,008	58	58	105	937	長谷川智之	106	937	108	106
56	1,011	勝間宥一郎	54	1,011	55	55	106	934	熊川三興	107	934	109	108
56	1,011	井戸美沙希	54	1,011	55	55	107	933	横田美代子	108	933	110	109
58	1,009	梶塚美稀	56	1,009	57	57	108	930	門野佑紀	109	930	111	110
59	1,007	田中利和	58	1,007	59	59	109	929	福富敬雄	97	951	92	51
60	1,005	門野文哉	59	1,005	54	54	110	927	浜口泰子	110	927	112	111
61	1,004	北村篤司	60	1,004	60	60	111	924	浜口ふゆ	112	924	113	112
62	1,002	河嶋浩二	61	1,002	61	61	112	922	西村忠生	122	909	95	
63	1,000	中川敏郎	62	1,000	62	62	113	921	辻本龍男	113	921	114	113
64	999	教野正和	63	999	63	65	114	920	湊 加津夫	114	920	115	114
65	986	山本有理	64	986	64	66	114	920	秦美代子	114	920	115	114
66	985	林 理子	65	985			116	919	馬淵有加里	116	919	117	116
67	984	森 豊	66	984	65	67	117	918	福富正子	111	926	97	
67	984	遠藤年生	66	984	65	67	118	917	野口しのぶ	117	917	118	117
67	984	鏑田一治	66	984	65	67	119	915	川上 智	118	915	119	118
67	984	前田 修	66	984	65	67	120	913	井川良一	119	913	120	119
67	984	鬼沢一彦	66	984	65	67	120	913	馬淵紗也加	119	913	120	119
67	984	西澤清隆	66	984	65	67	122	910	古川貴朗	121	910	122	121
67	984	奥居雅彦	66	984	65	67	123	908	浜口知奈	123	908	123	122
67	984	田中ふじえ	66	984	65	67	124	902	山本喜信	124	902	124	124
67	984	横山秀也	66	984	65	67	125	901	若林伸亨	125	901	125	125
67	984	深田 蕃	66	984	65	67	126	899	小川千歳	126	899	126	126
67	984	林 良治	66	984	65	67	127	898	門野 修	127	898	127	127
78	981	上田旨宏	78	981	77	79	128	896	井川雅子	128	896	128	128
79	980	河合大樹	79	980	78	80	129	893	井川裕貴	129	893	129	129
80	979	篠原重美	80	979	79	81	130	891	篠田耕太	130	891	130	130
81	978	古川夏帆	81	978	85	106	131	890	角田龍也	131	890	131	123
82	977	山口 篤	82	977	80	82	132	887	梅田 零	132	887	132	131
83	976	石川雅一	83	976	81	83	133	886	井川達貴	133	886	133	132
84	975	堤 周徳	84	975	82	84	134	882	平井 治	134	882	134	133
84	975	松田充弘	84	975	82	84	134	882	久木 武	134	882	134	133
86	974	馬淵加奈恵	86	974	84	86	136	876	馬淵加寿美	136	876	136	135
87	970	北川敦久	87	970	86	87	137	875	梅田拓未	137	875	137	136
87	970	高橋勝巳	87	970	86	87	138	861	新木泰子	138	861	138	137
89	968	森 城斗	89	968	88	89	139	857	太田英史	139	857	139	138
89	968	森 海斗	89	968	88	89	140	856	鈴木則成	140	856	140	139
91	966	高原淳志	91	966	90	91	141	855	松本伸次	141	855	141	140
91	966	後藤治郎	91	966	90	91	142	853	三島和史	142	853	142	141
93	959	井川ともみ	93	959	93	93	143	850	林 三郎	143	850	143	142
93	959	井川さとみ	93	959	93	93	144	846	松原清美	144	846	144	143
95	956	田沢 光子	95	956	95	95	145	843	猪飼弘美	145	843	145	144
96	952	柳 圭二	96	952	98	96	146	821	柴田久美子	146	821	146	145
97	951	平井芳治	97	951	99	97	146	821	大石よう子	146	821	146	145
98	946	西野幸子	99	946	100	98	148	814	若林武和	150	792	150	150
99	944	荒木正義	100	944	101	99	149	812	山崎房子	148	812	148	147
99	944	久木 茂	100	944	101	99	150	794	清水健一	149	794	149	148
							151	719	木村浩一郎	151	719	151	151

(監修:事業部会)

# 第20回カロム日本選手権記念大会

## 彦キャラ御三家揃い踏み！「赤鬼魂」が盤上で火花を散らす！

国宝・彦根城築城400年の今年、カロム日本選手権大会は、20回という節目の大会を迎えた。

東京・神奈川・栃木といった関東勢、迎え撃つ滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫の西軍。敵か味方か、岐阜・愛知・石川の中部北陸からも多数の軍勢。総勢510名（延べ）が、看板通り「彦根大勝負」に相応しい熱戦が繰り広げられた。

開会式は、獅山彦根市長・矢田彦根市教育長そして、国宝・彦根城築城400年祭キャラクター「ひこにゃん」を来賓に迎えられる。「ひこにゃん」登場の瞬間、参加選手は子どもも大人も視線は釘付け、獅山市長の「歓迎挨拶」の中でも、「ひこにゃん」人気に触れ、「次期市長は“ひこにゃん”！？」という爆弾発言なども飛び出し、天守閣だけでなく、競技場まで「ひこにゃん」にジャックされた感じであった。

第1回大会から連続20回出場の門野隆さんの力強い選手宣誓の後、「ひこにゃん」による「弓始式」が行われ、ダブルスの予選リーグ開始のホイッスルとともに、記念大会はスタートした。



弓を射り終えて、大役を見事に果たしてくれた、超多忙な「ひこにゃん」は、後ろ髪をひかれる思い（？）で市民体育センターを後に天守閣へ戻った。

代わって競技場に現れたのは、石田三成の家臣・島左近を題材とした、彦根・花しょうぶ商店街（LLP彦根街の駅）イメージキャラクター「しまさこにゃん」と、20年前のヒーロー（？）「しろまるくん」（1988年世界古城博開催時キャラクター？）だ！



「20回」と「二十歳」をコラボさせて、「しまさこにゃん」には、オーダーメイドの羽織袴で登場願った。20

年の歴史を感じるが、「しろまるくん」もかなりの人気、怖いモノ見たさ（？）の小学生から、果敢に握手を求められて、少々恥ずかしそうにに応じてくれていた。

20回大会と国宝・彦根城築城400年祭、そして「カロム伝播100年」を記念して、彦根とその周辺に残る古いカロム盤を特別公開した「カロム・ミュージアム」には、大正期のカロム盤がズラッと並べられ、来場者の視線を集めていた。中でも、彦根市の朝比奈氏所有のカロム盤は、大正期の盤であることもそうだが、「象牙のパック」が大変珍しく、カロムの中に隠された「贅」の部分垣間見たような気がする。



それ程蒸し暑くはなかったが、参加記念品の団扇とハンドタオルは「即戦力的な実用性」が好評だったようだ。ストライカーを弾きながら、空いた片手で涼をとる。そんな風物詩的でカロム情緒溢れる光景は、競技会場のあちらこちらで見られた。

大会のポスターは、「国宝・彦根屏風」をアレンジしたものだったが、「ひこにゃん」と一緒にカロムに興じる人物の顔の部分を取り抜いて、「顔出し看板」を製作した。「恐らく、ひこにゃんはすぐに天守に帰ってしまうだろうから、子どもたちが一緒に写真を撮れないので、言ってみれば苦肉の策ってことだ！ 出足は鈍かったが、プログラムが進むに連れて賑わいを見せ、「順番を待つ長蛇の列」まではいかなかったがかなりの評判で、製作を担当した実行委員会メンバーは、「プリンタのインクがすぐに無くなり、何度取り替えたか覚えていない」と、少し涙混じりの声だったが、力強くガッツポーズを決めていた。

第8回大会から、各クラス決勝戦で「黄金のカロム盤」を使用している。今年は、そこに新たなアイテムが加わった。「ファイナル・ブラック・ジャック」と



命名された“漆塗り”のジャックである。こちらも決勝戦でのみ使用され、覇者を決する一戦を見守る大事なキャラクターになった。



「カロム5番勝負」と「マイ・ストライカー工房」は、参加選手にはかなり好評だ！5番勝負で腕試し、工房では、熱戦で高揚した気持ちを落ち着かせ、フーッとひと息入れる。競技会場の中には、勝つためのたくさんのモノが散りばめられていて、それに気付いて上手く使った者が、ひょっとしたら勝者への近道に、辿り着けるのかも知れない。

8年ぶりに復活した「シニアクラス（60歳以上の方）」も、エントリー数はいささか寂しい感じは否めなかったが、久し振りに目の当たりにする燦銀的な駆け引きは、次の世代に受け継がなくてはならない宿題じゃないのかなあと、感心ばかりさせられた。記念大会ということで特例的に復活させたのだが、どうもそういうことで収めてしまえない、大切な役割を担っているようだ。



ここ数年間ずっと感じていることだが、滋賀県内で彦根以外からの参加者の健闘が際立つ。蒲生郡日野町・野洲市小篠原・栗東市中沢。学童保育や地域自治会で挙って参加いただいているいわば「新興勢力」である。以前に、このカロム倶楽部（第25号）で、ある学童保育所の大会直前レポートを紹介したが、それ以降も、豊富な練習量、受け継がれる伝統、本番で実力を発揮させる技術をバックボーンに、毎年上位入賞者を輩出している。そういった裾野が着実に広がって、しかも地元彦根地区の小学生の脅威になりつつある。大変喜ばしいことではあるが、カロムの聖地・彦根のプライドも捨ててはならない大切なもの。学校&地域あげての取り組みや、充実したカロムサポートの展開など、浸透と隆盛が期待し期待される。

「お城大使」のアシスタント振りも、カロム日本選手権大会に欠くことの出来ないものとなってきた。16回大会「カロムレディ」として登場以来5年目である。開閉会式の司会進行・表彰式のアシスタント・競技時間のタイムアナウンス等々。一昨年は、福島県の商店街会長さんの「カロムでまちおこし」視察ツアーに巻き込まれ、記念写真を強要されるといった場面もあったりして、肝を冷やしたりもしたのだが、その殆どが男性という運営スタッフの中であって、「癒し系」でもあるその存在は偉大かも。



最後に、どうしてもイイことだが、大会終了後行われた運営スタッフの打ち上げで、恒例の裏カロム選手権大会が行われ、小生が3位入賞を果たしたことを報告し、このレポートを締めくくりにする。

## Congratulations!

第20回カロム日本選手権記念大会、各クラス上位入賞の皆さんです！おめでとうございます！

- ◎シングルス（優勝・準優勝・3位・4位の順）  
 A：一ノ宮旺純・福井香澄・函師陽奈・山本佳輝  
 B：川上悠斗・池上航・西沢早苗・塚本健太  
 C：門野裕司・奥居聡・伊藤明雄・門野純也  
 S：大江正三・友田弘・中川敏郎・福富敬雄

- ◎ダブルス（優勝・準優勝・3位・4位の順）  
 D：巻幡勇斗/福島達也・山谷直輝/田中天  
     ・一ノ宮旺純/古川弘樹・福井涼加/福井水葵  
 E：早川駿哉/早川英樹・小倉義昭/川上悠斗  
     ・小川滉太/小川陸博・林和歩/井上翔  
 F：門野裕司/門野純也・石田光/竹腰裕紀  
     ・門野等/湯谷淳一・清水司/中川信秀  
 G：角田きみゑ/中川敏郎・山崎房子/野口しのぶ  
     ・福島正子/福島敬雄・松林善九郎/松林紀子  
     （敬称略）

夏の甲子園は、佐賀北高校の奇蹟の優勝で幕を閉じました。開会式直後の試合で佐賀北に敗れ、甲子園を後にした福井商業は、佐賀北優勝の瞬間も母校のグラウンドで練習中だったとか。またこの舞台に戻ってくるために・・・。



## 夏休み・サポート絵日記

7月22日(日)曇り

夏休みに入って最初の日曜日、子どもたちのシュプレヒ・コールの中、僕は大阪府大東市に行ってきました。大東市の生涯学習センターが主催する「サマー・フェスティバル」というイベントで、カロムを探り上げてもらったからです。

「午前10時までに会場入りしてください」って言われても、一度も行ったことないし、カロム盤10台も積んで、大きい車で行かなあかんさかい、ごつつう早よ家を出ました。途中のコンビニでおにぎりとお茶を買って、食べながら高速で行きました。名神高速から近畿自動車道という道路に乗り換えて少し行くと、門真市って看板に書いてありました。「意外に近いやん」と腕時計を見たらまだ9時前でした。近畿道を下りて一般道に出る時、トラウマみたいなのが襲ってきて、何かすごい不安になりました。

前の日の夜に、ヤフーを見て印刷しといた地図を頼りに、左折する交差点を必死で探して走りました。

かなり走ったと思ったんやけど、交差点が見つからないので、車を止めてコンビニのお姉ちゃんに聞くことにしました。

「そんなん来過ぎてるわ！近畿道下りて最初の高架を過ぎたらすぐに測道に入って、次の交差点を左折せなアカンやん……。」って言われても、僕の頭の中は◎×△◆▽○?×で、散々迷って、何とか10時前に滑り込みセーフで会場に入りました。

「今日は何人くらい来やはるんですか？」と尋ねたら、「去年の来場者は千人ほどです」と軽〜い返事で一本とられました。



「そんざようさんの人には教えられへんでえ」と弱音を吐いたら、「スタッフの娘が二人付いてくれます」と気の利いた返事をもらったので、俄然勢いが付きました。

彼女らは、奈良大学の大学院生やそうで、地域の伝統工芸や文化歴史に精通してはって、今年の大会のポスターを貼りだした途端に「あっ！ひこにゃん」と叫ばったけど、すぐに「彦根屏風ですね」と言い直さって、冷静さを取り戻した。その後で、今年の大会の写真を見せたったら、「黄金のカロム盤・漆塗りのカロム盤」にすごい関心を持たった。

このまま、この娘らと話してたらよいねんなあと思ってたら、ドンドンお客さん入って来やはるし、話すどころか、昼ご飯食べる間もないくらい忙しかった。

終わってみたら、カロムしてくれはった人は全部で15

0人くらい。ずっと指導に回ってたさかいに、あんまり試合はせんかったけど、やった試合は全部勝ったでえ！

けど、最後に一回



だけ負けてしもた。3対1で勝負したけど、やっぱあれはきついわあ。

帰り道は、迷わなかったし、道も空いてて、ビュンと飛ばして帰ってきました。大東市の人は、彦根の方にはあんまし遊びに来やれんみたいや

で、「国宝・彦根城築城400年祭もやってますで、一度来て下さい」言うて、ホンマお城大使みたいやハードやったけどおもしろい一日過ごさしてもらいました。



# 日本PTA全国研究大会 滋賀びわこ大会

8月23日～25日、滋賀県内の主な会場で、「第55回 日本PTA全国研究大会 滋賀びわこ大会」が開催されました。

私は、高校のPTA役員を努めていて、「第57回 全国高等学校PTA連合会大会 埼玉大会」の方へ出向きました。(まあ、どうしてもイイことなのですが)

滋賀びわこ大会での分科会会場(ひこね市文化プラザ)に「カロムブース」を設置していただけたということで、埼玉へ出発する準備と合わせて、展示ブースの備品準備なども整えておきました。担当いただく方に備品一式をお渡しして、「写真と記事もよろしくお願ひします」とプッシュして、スーパーアリーナに向かいました。

ここには、カロムの人気でござった返す分科会会場のカロムブースの写真と、「全国のPTAが絶賛! 全国小中学校参加で、キッズカロム日本選手権開催に期待高まる」みたいな見出しで、記事が載ってくる予定だったのですが、担当の方の急用で、ブースは設置していただけたようですが、記事はおろか、写真も無いといった状態で、ホント済みません。



埼玉で痛烈に感じました。

しかし、ひょっとすると、来年の選手権大会は、思いもしない場所から参加者が現れることを期待できるかも知れません。

何たって、PTAのパワーは凄いですよ。

## 実行委員会反省会便り

8月29日、選手権大会から随分と経ってしまいましたが、選手権大会実行委員会の反省会が行われました。

その中で、本年復活させた「シニアクラス」を今後どうするのか? ジュニアクラス(小学生)と一般クラス(中学生以上)の間に、新しいカテゴリー(例えば、U-18: 18歳以下)を新設してはどうか? 競技ゾーンへの立入について厳格に規制してはどうか? などの意見が出され、シニアクラスの存続と、その世代への積極的なアプローチと、会場レイアウトやカロム盤の改良を以て、選手と応援者を分けて、選手権大会の名に相応しい運営を行う方向で確認された。



## 次回定例競技会のご案内

日時: 2007年12月2日(日)

13:30~定例競技会

(受付13:00~)

会場: 文教スタヂオ5Fコンベンションホール

参加費: 300円(ひとり)

(おつりの要らないように小銭をご準備願ひします)

会場には駐車場がございません。

公共交通機関をご利用いただくようお願い申し上げます。  
文教スタヂオさんの駐車場には駐車しないで下さい。



## ぶれいくしよつと

いよいよ夏も終わり。

冷夏から一転して猛暑へ、今年のお盆の暑さはホント異常でした。8月16日に、岐阜県多治見市と埼玉県熊谷市で、国内最高気温を更新する40.9℃を観測した。それまでの記録は、1933年山形県山形市で記録された40.8℃で実に70年以上も前の話。我が家では、誰もその年の夏を経験していません。

ちょっと調べてみたら、この40.9℃以上の気温が観測されていました。徳島県鳴門市42.5℃(1923/8/6: 区内観測所)、東京都足立区42.7℃(2004/7/20: 東京都環境科学研究所)、東京都大手町47.3℃(1923/9/2: 関東大震災の火災による)。ここまで聞くと真夏に逆戻りだ。世界に目を転じてみよう。世界最高は、イラクのバスラで観測された58.8℃(1921/7/8)! ちょっとばかりか、全く想像がつかない暑さです。

地蔵盆あたりから、随分と過ごしやすくなったのに、そんな暑い話出してこなくても良いのに。ごもっとも! でも、子どもたちには、夏休みの自由研究の足しになったかな? お父さん方には、地球温暖化を議論しながら、冷たい生ビールを飲んでみるきっかけになったでしょうか?

ちなみに、国内最高気温を記録した夜、僕は京都に出掛けて、生まれて初めて「京都五山送り火」を観覧してきました。「大」と「妙・法」は、知り合いのマンションのベランダから見えました。その情緒というか風情というかは、昼間の地獄のような暑さを、いとも簡単に忘れさせてくれる、そんな魔力だったような気がします。